

がんばっています!第3次地域福祉活動計画 (平成26年度～30年度)

地域福祉活動計画とは…

赤ちゃんからおとしよりまで、障害のある人もない人も「誰もが住みよい福祉のまちづくり」を実現していくために、地域住民の皆さん、関係者（ボランティア、NPO、事業者など）がともに協力しながら行う活動や行動計画を具現化するものです。「誰もが誰かの力になれる地域づくり」をスローガンに、3つのプロジェクトチームに分かれて活動を行ってきました。今号ではプロジェクトチームの活動内容をご紹介します。



平成30年4月からは次期計画（第4次地域福祉活動計画）の策定が始まります。
公募委員募集中 私たちの昭和区の未来を一緒に考えてみませんか？



担い手循環プロジェクトチーム

「私たちが暮らす地域で、助け・助けられながら、ともに育ち、みんなが担い手になる」をテーマに「ふくし講座の開催」「福祉教育セミナーの開催」「学校で取り組む福祉教育の支援」「子育て見本市の開催」「子育てカレンダーの作成・配布」などの事業に取り組んできました。



▲ふくし講座「いりようとかいごのおやこ探検隊」
親子でミルフィーユとんかつ作りの様子

福祉教育セミナーの開催（表紙の写真）

2月6日（火）吹上小学校特活室にて、区内の小中学校教員向けの福祉教育セミナーを行いました。今年度福祉教育の授業に取り組まれた吹上小学校5年生、桜山中学校1年生の実践を報告していただいたほか、地域の障害者施設の立場から福祉の授業にご協力いただいているきららハウスの取り組みについても発表していただきました。後半はグループに分かれて、各校の授業の様子や特別支援学級と通常学級の生徒が一緒に取り組む活動の様子等、各校それぞれの実践について意見交換を行いました。